

幸楽園通信

Vol: 01

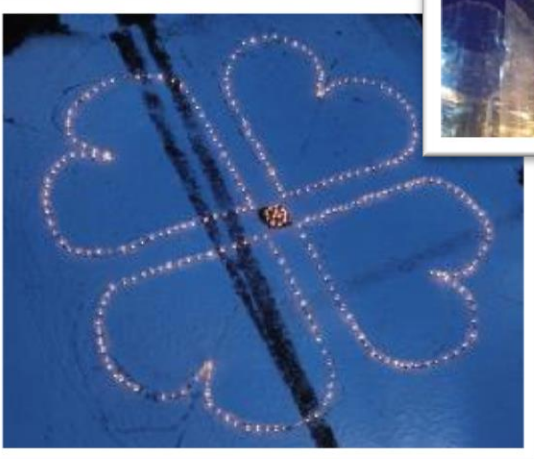


2015年1月号 発行：平成27年1月10日

責任：鈴木卓也 編集：板澤寛

雪あかり

十二月十日ふるりの丘総合福祉館の中庭で幸清会品の皆様等により毎年冬の恒例行事となっているイベント「雪あかり」が行われました。雪あかりはペットボトルの中にロウソクで火をともし中庭に大きな絵を描くというロマンチックな企画。今年は『幸せの四葉のクローバー』を作っていたいただきました。入居者の皆様はキャンドルの優しい灯を見つめながら穏やかなひと時を過ごしました。厳しい冷え込みの中作業してくださりました皆様に心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。



自由研究

幸楽園に勤める職員のお子さんが編み物を習いにやってきました。習いに来たのは内藤雄一朗君（小学4年生）。雄一朗君はこれまでマフラーと帽子を編んだことがあるそうです。その時はお母さんやおばあちゃんから教わりましたが、今回は更に難易度をあげて手袋にチャレンジ。そこで先生に抜擢されたのが幸楽園に入居されている皆さん。「ひ孫みたいだ」「女の子でも『できない』って言って投げ出すのに、この子は本当に偉いねえ」と目を細めながら編み物を教える姿がとても印象的でした。雄一朗君は今回の手袋を冬休みの自由研究にするつもりだそうです。頑張れ雄一朗！幸楽園は雄一朗を応援しています！



メリークリスマス

十二月二十四日のクリスマススイヴには、それぞれのユニットでケーキを作り、いつもと違う高級なコーヒーやシャンパン等を飲んで楽しみました。青空ユニットでは職員がサンタやトナカイの衣装を着てクリスマスのお祝いを盛り上げました。入居者の皆さんも、いつもとは一味違うお祝い事に楽しんでくださったようでした。この日の幸楽園は甘いイチゴの香りに包まれ、とっても幸せな一日となりました。



映画鑑賞会

十二月二十五日のクリスマスには映画鑑賞会を行いました。入居者の方に「クリスマスプレゼントは何が良いですか？」と尋ねたところ、「映画が観たいなあ」と粋な希望をお受けしました。そこで考えついたのが今回の映画鑑賞会。小さな映画館を作り昔の懐かしい映画を観ていただきました。「映画なんて何十年ぶりだ」「昔の映画なんて観れるんだねえ」「楽しかった」と皆さんに喜んでいただきました。思いがけず大好評につき、第二弾も実施予定です。



おもちつき

十二月三十日にお餅つきをしました。餅をつく瞬間には、会場のみなさんから「よいしょー」と大きな声が上がリ、年末の恒例行事を楽しく行うことができました。ついたお餅は食べやすいように工夫して、お雑煮とおしるこにして職員も一緒にいただきました。

今年も皆さんが充実した一年を過ごせるように入居者の皆様と楽しい企画を一緒に考えたいと思っています。本年も幸楽園をよろしくお願ひ申し上げます。



大祓式

十二月二十六日には、年末の大祓式が行われました。蛇田神社から神主が来られ、病気や怪我等の穢れを祓い清め、新しい年も元気に明るく過ごせるようお祈りしました。



お知らせ

●インフルエンザやノロウイルスなどの感染症が流行する時期です。幸楽園では昨年の二月にノロウイルスが流行しご家族の皆様には大変ご心配をおかけいたしました。今年には感染症の発生はありませんが、いつやってくるかわからないのが感染症です。幸楽園では不測の事態に備え、昨年末から看護師が講師を務め、繰り返し感染症対策に関する研修会を開催して意識を高めています。多くの感染症は十分な手洗いで予防できます。寒い時期にご負担をおかけいたしますが、ご来館の際には正面玄関での手洗い、うがいをお願いいたします。

あとがき

今年から定期的に幸楽園通信を発行することになりました。

幸楽園通信では、施設での出来事や、お知らせ等をご紹介していく予定です。

「こんなことも紹介してほしい」「こんな案内がほしい」…等、皆様からのご意見を頂けると嬉しいです。編集は生活相談員の板澤が担当しています。二階の事務所におりますのでいつでもお気軽にお声がけください。